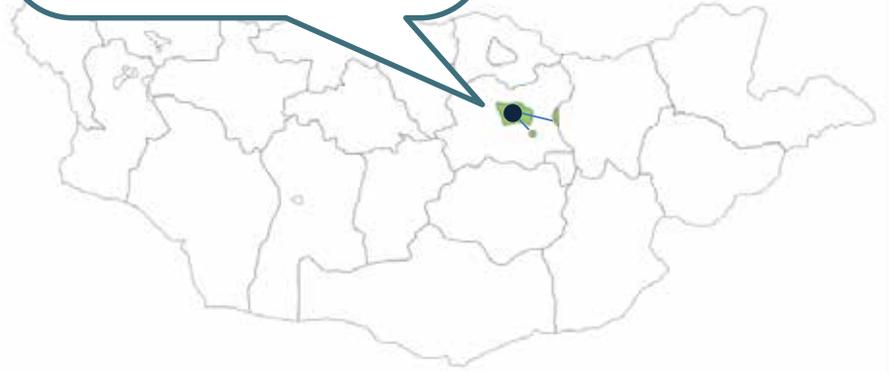


モンゴル国ウランバートル市-札幌市に関する都市間連携

1981年に札幌市の提唱により始まった国際ネットワーク「世界冬の都市市長会」に、ウランバートル市は1998年に加盟し、以後、両市の情報・技術交流が続いている。2016年度には、札幌市とウランバートル市は都市間連携事業を実施しており、再生可能エネルギーの導入や廃棄物発電事業の調査が実施された。本事業は、同じ寒冷地にある都市として、住宅・建築分野における省エネ技術の普及促進を中心に支援を行い、脱炭素化社会の実現に貢献する。

モンゴル国ウランバートル市
パリ条約に基づくNDCで、2030年までにGHG排出量22.7%削減を目標に掲げ、市内の石炭利用の制限や再生可能エネルギーの利用、建物の断熱性能の向上に取り組む。



札幌市
市内から排出される温室効果ガスを2050年には実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を宣言。寒冷地ならではの住宅・建築分野の施策・技術の普及促進に取り組む。



モンゴル国ウランバートル市-札幌市に関する都市間連携



札幌市

オリエンタルコンサルタンツ

岩田地崎建設株式会社

ゼネラルヒートポンプ工業株式会社

北電総合設計株式会社

北海道大学工学部



ウランバートル市

ウランバートル市首都都市開発局

ウランバートル市首都公園公社

モンゴル建設・都市計画省

モンゴル貿易開発銀行



低炭素型モデル建築仕様の対象として検討したウランバートル市新庁舎（右）とSerena town（左）

【事業活動】

- 札幌市の寒冷地における都市政策、住宅・建築分野の施策・取組みの紹介
- 日本の寒冷地におけるZEB・ZEH-Mの技術、実施事例の紹介
- 省エネ性能算定のための概要書の作成
- 寒冷地における低炭素型モデル建築仕様の具体的な検討（ZEB概念の活用、地中熱導入検討）
- モデル建築仕様のウランバートル市での建設施設を対象とした具体的な適用検討
- オンラインワークショップの開催（4回）

【成果】

- 札幌市の施策、住宅・建築分野の施策・取組み（寒冷地におけるZEB・ZEH-M）への理解促進
- 建築物の省エネ性能の適正評価に資する算定項目とその計算方法の知見共有
- ウランバートル市の現状に即した低炭素型モデル建築仕様の整理・提案
- ウランバートル市新庁舎及びSerena townを対象とした低炭素型モデル建築仕様の適用の検討（JCM設備補助の試算）